

令和5年10月18日

一般社団法人 全国専門学校教育研究会
 会員各位

校 運 営 部 会 座 長 成 底 敏
 教育研究・質向上委員会 委員長 八木 信幸
 教育研究・質向上委員会 副委員長 木村 隆浩

**「教職員のための ChatGPT 入門および情報系教員のための GPT を搭載したアプリ開発演習」研修について
 (ご案内)**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校現場における生成 AI の活用は、大きなテーマになっていると思います。

そこで、今回の研修は、生成 AI および大規模言語モデルの活用経験が豊富な先生にお願いし、2つのコースを計画いたしました。コース1は、情報系の先生向けに2日間対面で実施し、コース2は、教職員を対象とした入門の内容をオンラインで実施する内容になっております。

年末のご多用な時期とは存じますが、情報系教員の方はもちろん、管理職、事務、広報などいろいろな業務の皆様のお役立ていただければと考えております。ぜひこの機会に多くの皆さんに受講していただきたい内容ですのでよろしくお願い申し上げます。

敬具

研修内容について

◆コース

コース1 情報系教員のための GPT を搭載したアプリ開発

(2日間 12/19～12/20 対面実施 2日目はコース2の内容)

情報系の教員の皆様向けに対面で実施します。12/19は ChatGPT を搭載したアプリ開発演習、12/20は ChatGPT 入門と活用についての研修です。

コース2 教職員のための ChatGPT 入門

(1日間 12/20 オンラインのみ)

教職員向けに実施します。オンラインで実施し、12/20に ChatGPT 入門と活用についての研修です。

◆日 時

1日目 令和5年12月19日(火) 13:00～18:00 (18:00～情報交換会)

2日目 令和5年12月20日(水) 9:00～12:00

◆テーマ

「教職員のための ChatGPT 入門および情報系教員のための GPT を搭載したアプリ開発演習」

生成 AI の急激な発展に伴い、幅広いビジネス領域で大規模言語モデル (Large Language Model; LLM) が注目されています。特に、OpenAI 社の ChatGPT で採用されている LLM は、人間に近い自然な対話能力を有しており、リリースからわずか2ヶ月で1億人のアクティブユーザーが ChatGPT を利用するなど、数々の偉業を達成しつつあります。LLM は情報検索、コンテンツ生成、問題解決などの多岐にわたるタスクで活用が進み、教育現場への導入も進んでいます。例えば、文部科学省は、教育機関向けに生成 AI の利用に関するガイドラインを出し、教育者に生成 AI のメリットとリスクを理解した上での活用を求めています。

ソフトウェア開発の分野では、LLM の活用による要件定義・設計・実装・テストの全工程において活用が進

んでいます。例えば、GitHub Copilot による支援を受けながらプログラムを書いたり、ChatGPT にエラーの内容を問い合わせながらデバッグしたりすることで、実装時間を大幅に短縮できます。さらに、Q&A ボットや要約サービスなど、LLM を搭載したソフトウェアが急増しつつある上、LLM は GUI のように様々なソフトウェアに搭載されるインタフェースになるという予想も立てられています。今後、ソフトウェア開発者は、LLM を活用して開発業務を効率化するだけでなく、LLM を搭載したアプリを開発するスキルも求められます。

本研修では、1日目にソフトウェア開発における ChatGPT の活用方法を学び、LLM を搭載したチャットボットなどのソフトウェア開発演習を通して、LLM の活用スキルとアプリへの組み込みスキルを習得いただきます。さらに、2日目のみオンライン参加を受け付け、様々な分野の専門学校の教員を対象として、ChatGPT の基礎知識や様々な校務における活用事例を学びます。2日間を通して、ソフトウェア開発から日常的な校務まで、幅広い場面における ChatGPT および LLM の活用方法およびスキルを習得いただきます。

◆研修の概要

第1日目 令和5年12月19日(火)

時間	概要	詳細内容
12:30～13:00	受付	-
13:00～13:20 (20分)	ChatGPT 入門 (短縮版)	ChatGPT の基礎知識や使用上の注意点について解説する。
13:20～13:50 (30分)	ソフトウェア開発における ChatGPT の活用方法	要件定義・設計・実装・テストなどソフトウェア開発の各工程で ChatGPT を活用する方法について紹介する。
13:50～14:20 (30分)	LLM を搭載したアプリの事例紹介	LLM を搭載したアプリの事例を通して、LLM アプリ開発の重要性を説明する。また、OpenAI の API に関する基礎知識や重要な概念を解説する。
14:30～18:00 (210分)	LLM を搭載したアプリの開発演習	演習を通して、Python 言語による OpenAI API を搭載した簡単なアプリケーションの開発スキルを習得する。
18:00～20:00	情報交換会	先生方の情報交換 (名刺をご準備下さい)

第2日目 令和5年12月20日(水)

時間	概要	詳細内容
8:30～9:00	受付	-
9:00～10:00 (60分)	教員向け ChatGPT 入門	ChatGPT の基本的な知識や一般的な事例、プロンプトを作るときのコツ、GPT-3.5 と GPT-4 の出力結果の違い、教育目的で使用する際の注意点について解説する。
10:10～11:00 (50分)	校務における ChatGPT の活用方法	ChatGPT を使った学習支援や、選択問題の自動生成など校務における活用方法を紹介する。
11:00～12:00 (60分)	プロンプトエンジニアリング演習	演習を通して、意図した出力が得られるようにするためのプロンプトの作成スキルを習得する。

※両日も適宜休憩を入れます。

◆研修の参加にあたっての必要な事前知識

- ・ 1日目：アプリ開発の演習を行うため Python の基礎知識が必要です。
- ・ 2日目：PC の基礎知識が必要です。必須ではありませんが、Slack・Teams・Discord などのコミュニケーションツールの使用経験があることが望ましいです。

◆必要環境

会場参加：会場の WiFi 等を通してインターネットに接続できる PC

(必須ではありませんが、Python の開発環境もご用意いただくと、演習がより快適になります。
また、当日は Slack を介して ChatGPT 相当の生成 AI をご利用いただきます。)

オンライン参加：

インターネットに接続できる P C、接続は、MicrosoftTeams または Zoom で接続
(当日は Slack を介して ChatGPT 相当の生成 AI をご利用いただきます。)

◆会場 (予定)

TKP 品川カンファレンスセンター

〒108-0074

東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 6 階・7 階・9 階・10 階 (事務所：9 階)

【鉄道の場合】

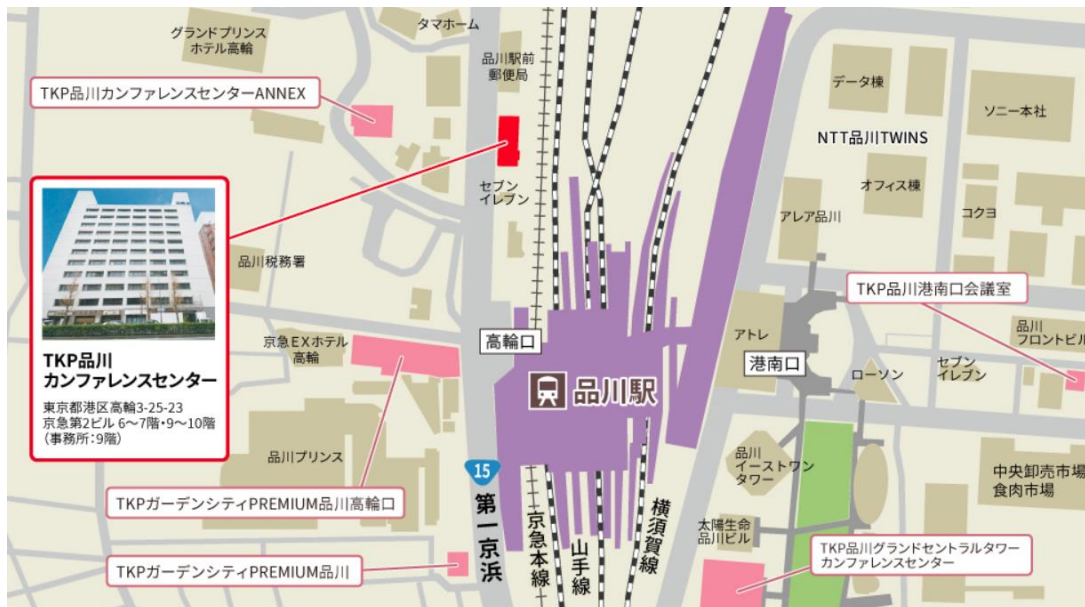
JR 山手線 品川駅 高輪口 徒歩 3 分

JR 横須賀線 品川駅 高輪口 徒歩 3 分

JR 京浜東北線 品川駅 高輪口 徒歩 3 分

JR 東海道本線 品川駅 高輪口 徒歩 3 分

京急本線 品川駅 高輪口 徒歩 4 分



◆講師

坂本 一憲 (サカモト カズノリ)

○略歴

2010 年 早稲田大学 基幹理工学研究科 情報理工学専攻 修士課程 修了 (飛び級)

2011 年 早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 助手

2013 年 早稲田大学 基幹理工学研究科 情報理工学専攻 博士後期課程 修了

2013 年 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学系 特任助教

2014 年 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学系 助教

2014 年 独立行政法人 科学技術振興機構 さきがけ研究者 (兼任)

2018 年 株式会社 UsideU CTO

2018 年 WillBooster 合同会社 CEO 兼 CTO

2018 年-現在 早稲田大学 研究院客員准教授

2019 年-現在 WillBooster 株式会社 代表取締役社長

2022 年-現在 東京通信大学 准教授

○主な受賞歴

- 2011年 経済産業省および情報処理推進機構 未踏スーパークリエイター
- 2012年 早稲田大学 小野梓記念学術賞
- 2012年 財団法人安藤研究所 安藤博記念学術奨励賞
- 2012年 IEEE Computer Society Japan Chapter, Young Researcher Award
- 2014年 情報処理学会 山下記念研究賞
- 2014年 日本ソフトウェア科学会 高橋奨励賞
- 2015年 International Symposium on Software Testing and Analysis, Best Artifact Award
- 2016年 情報処理学会 学会活動貢献賞
- 2017年 日本 e-Learning 大賞 AI・人工知能特別部門賞

◆定員

- コース1 会場参加：30名（両日とも参加の方）
 - コース2 オンライン参加：人数制限はございません。（2日目のみ）
- ※お申し込みは先着順とし、コース1は定員になりしだい締め切らせていただきます。

◆参加料

- コース1 情報系教員向け2日間 12/19・20（会場参加）

全専研会員校 17,000円（税込み）/1名

全専研非会員校 25,000円（税込み）/1名

※当日ご持参下さい。

- コース2 教職員向け1日間 12/20（オンライン参加） ※振込をお願いいたします。

全専研会員校 5,000円（税込み）/1名

全専研非会員校 9,000円（税込み）/1名

令和年12月13日(水)までに参加料を下記口座にお振込みください。

【振込先】

清水銀行 三島支店 普通口座

口座番号：2177699（店番号：103）

シヤ）ゼンコクセンモンガツコウキヨウイクケンキユウカイ

口座名義：一般社団法人全国専門学校教育研究会

領収書はメールPDFにて送付いたします。

◆申込み方法

申込み受付期間 令和5年12月8日(金) 18:00まで

申込書をメールでお送り下さい。（学校法人河原学園 木村 隆浩 kimura@kawahara.ac.jp）

申込みを受け付けた場合は返信・確認のメールを送付させていただきます。

※お申し込みは先着順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。

【お問い合わせ】

担当 学校法人河原学園 木村 隆浩

メール kimura@kawahara.ac.jp 電話 089-943-5333

「教職員のための ChatGPT 入門および情報系教員のための GPT を搭載したアプリ開発演習」研修について

コース 1 情報系教員のための GPT を搭載したアプリ開発

情報系分野対象 2 日間コース 12月19日(火)・20日(水) (対面) 参加申込書

法人名 _____

学校名 _____ 記入者名 _____

TEL _____ メールアドレス _____ @ _____

フリガナ 参加者氏名	部署(学科)・役職	メールアドレス

お申込み方法はメールでお願いいたします。

申込期限 **令和5年12月8日(金) 18:00 まで**

お申込みのメール送付先 kimura@kawahara.ac.jp 学校法人 河原学園 木村 隆浩

※受信後、受理確認のメールを返信いたします。(返信が無い場合はお手数ですがお電話をお願いいたします)

※複数人のお申込みの場合は、メールをいただいた方を代表としてお返事いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせ先

学校法人 河原学園 本部 TEL089-943-5333 木村までお願いいたします。

メールでのご質問も受け付けいたします。

「教職員のための ChatGPT 入門および情報系教員のための GPT を搭載したアプリ開発演習」研修について
コース 2 教職員のための ChatGPT 入門

教職員対象1日コース 12月20日(水)(オンライン)参加申込書

法人名 _____

学校名 _____ 記入者名 _____

TEL _____ メールアドレス _____ @ _____

フリガナ 参加者氏名	部署(学科)・役職	メールアドレス

フリガナ 参加者氏名	部署(学科)・役職	メールアドレス

--	--	--

お申込み方法はメールでお願いいたします。

申込期限 **令和5年12月8日(金) 18:00まで**

お申込みのメール送付先 kimura@kawahara.ac.jp 学校法人 河原学園 木村 隆浩

※受信後、受理確認のメールを返信いたします。(返信が無い場合はお手数ですがお電話をお願いいたします)

※複数人のお申込みの場合は、メールをいただいた方を代表としてお返事いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせ先

学校法人 河原学園 本部 TEL089-943-5333 木村までお願いいたします。

メールでのご質問も受け付けいたします。